

## 2015 CQWW ssb コンテスト参加記

JA3AOP / 杉山 暁

毎年、CQWW ssb は都合が悪く参加できませんでした。2010CQWW以来、5年ぶりの参加です。  
 "N1MM" コンテストログが"N1MM+"に改訂され高機能がスムーズに使えるようになったようなので、これを使って参加しました。  
 シングルオペレータ部門では、S01V(Single Operator 1 VF0), S02V(Single Operator 1 VF0), S02R(Single Operator 2 Radio)が設定できます。最も簡単なS01Vで設定を行いました。  
 Rig. (IC-7600) とのインターフェースはCI-Vですが、Rig.とはUSBで接続で情報のやり取りができます。LOGのBandMapにRigの周波数を示したり、S&Pで自分が交信した局や、Clusterからのspotを表示できます。  
 今回はCQマシンの機能もN1MM+ のものを使うことにしました。

### [NOAA Sunspot Number]

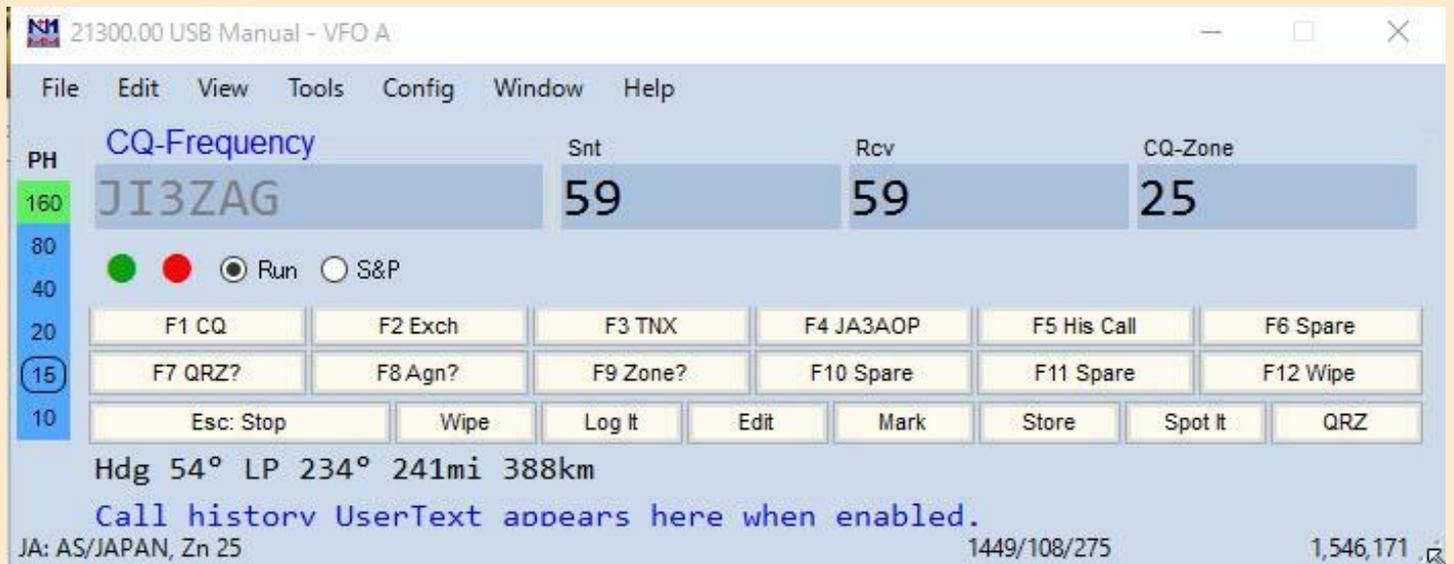
White: 0, Skyblue: less than 40, Green: 40-80, Yellow: 80-120, Red: greater than 120

2013/12/15	158	114	91	118	138	137	131	111	108	96	81	96	107	95	119	93	136	106	135	162	173	225	245	196	173	106	138	
2014/01/11	134	118	102	95	87	77	95	114	91	131	141	144	121	150	150	109	62	70	96	112	87	147	163	168	183	234	223	
2014/02/07	241	186	180	122	151	187	157	196	195	137	101	134	123	140	152	179	185	205	157	197	227	278	177	170	191	160	191	
2014/03/06	174	161	138	123	122	108	145	130	121	141	139	110	125	137	137	125	159	159	132	114	123	145	135	132	122	129	124	
2014/04/02	126	137	174	172	127	106	94	95	78	83	74	95	105	149	245	206	263	259	192	168	138	105	71	73	46	84	79	
2014/04/29	80	81	93	114	121	128	131	137	105	124	123	125	161	164	138	162	130	136	146	132	130	126	100	70	112	130	133	
2014/05/26	110	96	72	55	56	55	68	56	61	70	102	132	155	144	152	149	176	196	276	159	80	81	87	108	108	75	75	
2014/06/22	95	64	37	52	72	78	89	112	124	154	180	179	198	213	256	197	209	182	159	166	145	102	70	25	11	0	26	
2014/07/19	27	41	16	40	55	55	65	76	110	143	160	145	139	165	178	152	111	93	119	153	101	111	64	82	80	68	108	
2014/08/15	119	99	121	92	84	89	128	139	124	128	112	81	82	78	73	64	90	94	105	92	138	124	170	154	158	162	161	
2014/09/11	164	157	165	120	156	85	91	75	91	75	72	87	90	76	139	203	159	200	160	166	164	105	128	125	106	86	75	
2014/10/08	61	65	54	38	28	41	70	90	66	39	60	86	93	120	123	126	147	115	138	120	109	84	121	71	82	91	93	
2014/11/04	99	113	107	96	92	78	63	70	89	104	117	100	91	95	92	72	83	68	64	66	111	120	170	155	166	156	153	
2014/12/01	160	146	128	137	97	73	58	77	80	97	115	102	121	175	152	169	154	168	156	120	159	113	128	86	100	92	111	
2014/12/28	108	113	102	94	101	113	122	124	89	102	106	101	125	146	133	111	93	89	62	75	49	78	62	57	50	63	70	
2015/01/24	57	65	110	119	140	181	193	153	132	117	112	85	86	71	80	94	82	82	76	50	59	49	45	44	40	95	86	
2015/02/20	53	54	49	44	63	64	39	58	70	66	65	38	43	31	37	20	23	29	42	42	56	87	56	54	57	60	44	
2015/03/19	71	27	40	88	119	127	115	103	109	82	73	56	53	69	31	29	68	66	78	39	40	37	34	74	64	68	97	
2015/04/15	85	85	93	114	142	125	153	134	110	79	77	55	42	36	26	27	13	25	67	85	99	110	131	134	136	134	188	
2015/05/12	170	135	126	113	103	75	83	84	61	36	81	69	74	66	48	24	11	23	27	47	38	39	55	80	105	129	136	
2015/06/08	122	110	105	101	96	97	117	107	87	94	82	74	89	79	77	61	39	33	28	25	39	36	41	49	73	91	111	
2015/07/05	131	109	118	131	120	124	91	59	44	39	39	55	40	52	46	39	37	35	27	54	41	38	53	56	66	83	71	
2015/08/01	70	51	62	68	87	80	95	92	87	67	87	68	51	46	33	32	20	44	36	68	78	72	93	71	61	45	46	
2015/08/28	52	50	50	50	49	41	27	36	24	38	47	40	49	42	79	87	75	52	66	67	72	62	61	74	68	79	95	
2015/09/24	86	145	138	154	120	125	78	73	58	47	18	15	24	24	24	11	22	36	51	58	56	49	68	83	81	94	77	
2015/10/21	76	94	91	74	63	72	78	71	101	88	73	88	94	95														
2015/11/17																												
2015/12/14																												

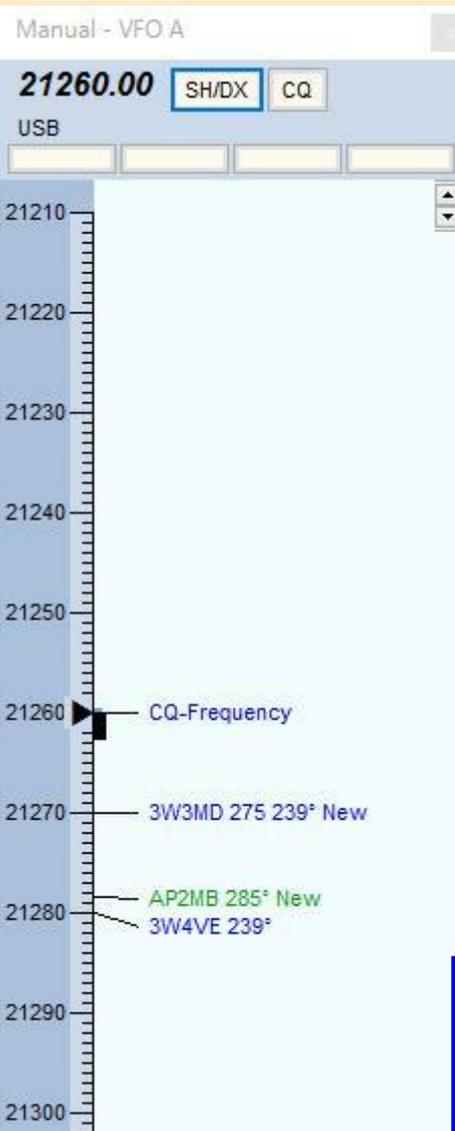
昨年から最近までの太陽黒点数の推移。太陽の自転周期 (27日) に合わせてレイアウトした図表。  
 2015 All Asia SSB <9/5 - 9/6> (青マーカーで表示) ではSSNIは24, 38 と低くコンディションはすくありませんでした。  
 今回は直前が94, 91で100を超えるかの期待を持たせましたが、結果は74, 63 (赤マーカー) でした。

Entry画面の下に並んでいる機能がFunction key の操作で行えます。準備はこれらのkeyで送出する音声fileの作成が必要です。F1(CQ)は"Juliet Alpha Three Alpha Oscar Papa, JA3AOP, contest" を、F2(Exch)は"five nine two five" を録音しました。問題はF5(His Call)です。F5はLOGエントリ欄に打ち込んだ相手局のコールサインを読み上げてくれるので、コールサインのミスコピーの防止に一役買ってくれるのでぜひ取り入れたいと、予ねて思っていました。

そのためには、アルファベット(A - Z)と数字(0 - 9),合計36個の音声ファイルを作る必要があります。オーディオ編集用のソフトを使って、前後の無音部を切り詰めたり 音量をそろえたりして音声ファイルを作りました。PCのサウンドボードを使ってRigへ音声を供給します。不意にPCのサウンドアラームが混入しないようにOFFにしておく必要があります。Rigへの音声供給はRTTYなどのサウンドカード・インターフェイスを用品ます。PTT信号はRS232Cのポートから出力しました。



N1MM+ のEntry 欄 キーボードの (Fn)キーを使ってCWモードと同じようにPhoneでもメッセージの送出機能がある。特に (F5)His callはコールサイン欄に入力してある文字を読み上げてくれるので、コールサインのタイプミスのチェックに効果がある。



これまでは、Single Op. assisted 部門でもWeb cluster の画面を見る程度でしたが、今回は telnet cluster に接続して、spot 情報をband map に取り込み、そのスポットをクリックすることでRigのダイヤル操作なしに瞬時にその周波数に飛んでいけるように家のPCで設定の予行演習をしました。

コンテスト前日、淡路シャックに入り 準備してきた音声ファイルをセットしたりインターフェースの接続をしました。N1MM+ のバージョンアップ、check file などの更新を行いました。最後に、Telnet clusterのノード局に接続しましたが、データがうまく入ってきません。何回か試してみるが駄目。

明日もうまくいかなければ、Single op nonassisted で参加しよう 眠くなったので就寝。

コンテスト当日、試しにSUB機のPCでTelnet 接続するとclusterのデータが受信できる！

慌てて、PCの取り換え作業を開始・・・、島本さんの ロールコールのCQが聞こえる、とにかくロールコールに参加。

ロールコールが終わって、朝食も途中だがCQWWへ。9時台(jst)10時台は21MHzでNAが100QSO/hrで快調。

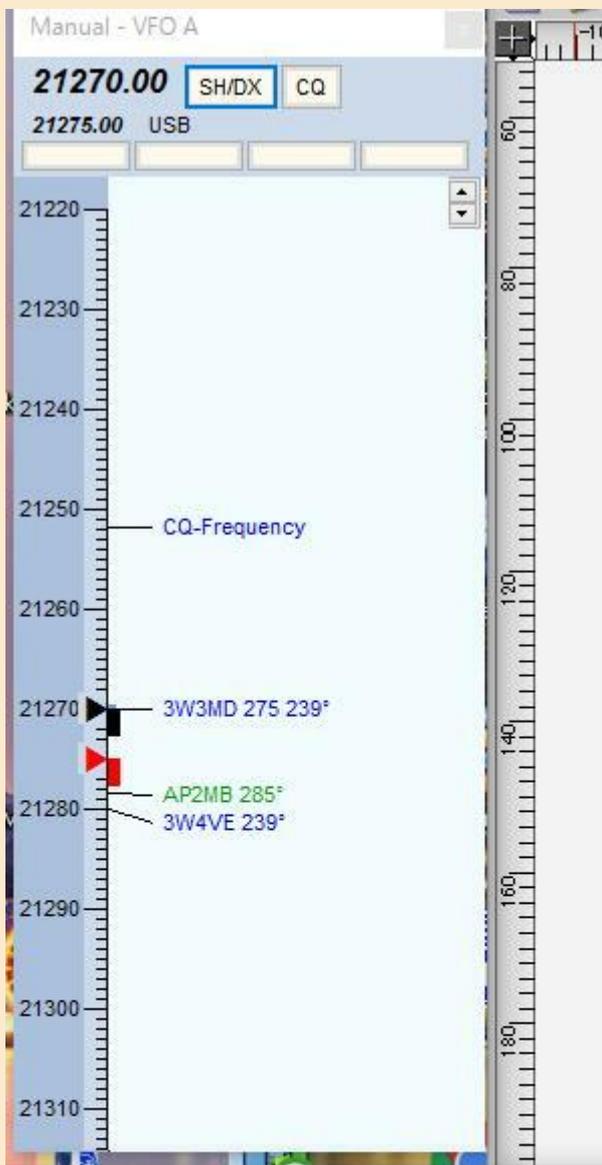
しかし、普段はポツリポツリと入ってくるspot情報ですが、さすがCQWW、telnet cluster から猛烈な勢いでデータが入ってくる。telnet cluster のspot 表示画面は絶えず流れるように表示が更新されてゆく。

このためか、PCのCQアナウンスが時々躓く。使っているパソコンがXP時代のビジネスパソコンにWin7を再インストールしたものを買ってきて、最近Win10にグレードアップしたものでPCの処理能力が低いのか？

CQアナウンスが躓くのはちょっとだけじゃない。仕方なく、PCからの音声はあきらめて、アドニス(CQマシン)に切り替えて運用。

Bandmapの例、Run モードで運用中の自局のCQ周波数、Clusterから取り込んだニューマルチ局、QSOすべき局などが色分けして表示される。

この状態で、3W3MDをクリックすると、次の図のようにRunモードからS&Pに自動的に切り替わり、TRXの周波数は自局のCQ周波数の21,260kHzから3W3MDの運用周波数にジャンプする。



左図はBandmapの3W3MDをクリックした後の状態をします。リグの受信周波数は黒三角形で示され、3W3MDの運用周波数21,270kHzになっています。そして、下のコールサインのエントリー欄の上に3W3MDが表示されます。受信状況を確認して交信を行うのであればエントリー欄の上のコールサインをクリックすればエントリー欄に3W3MDが入力されます。この図の場合は、3W3MDのspot情報がsplit運用の情報であるので送信周波数は赤三角印で示される21,275kHzにセットされています。三角印の先には占有周波数帯が目盛に沿って示されています。交信が終わって、元のCQ周波数に戻るには、BandmapのCQ-Frequencyをクリックすれば自動的にリグもCQ周波数にセットされ、LOGもRunモードとなります。また、S&Pモードで運用した相手局のコールサインもBandmap上に自動的にspotでき、グレイで表示されるので、S&Pでバンドをサーチする際にその周波数を飛ばしていけるので非常に楽です。

11時台はランチで小休止。昼間は14,21,28でAS,OCを中心に。16時台は28MHzでEUが好調。19時以後は7,14を探るがあまりぱっとしない。21時台は休憩・食事のOff time。引き続き14,7MHzを攻めるが14MHzのコンディションが良くない。日曜日午前3時、初日のEUはここまでとして、仮眠に入る。

4時間弱の休憩後、まだ聞こえている7MHzのEU方面と若干の交信。初日最後の1時間はANTをNA,SA,OCにセット。28と21MHzで午前8時台を中心にランニング出来ました。夕方からのEU方面に備えて11時過ぎから2時間の休憩。15時台16時台は28MHzを中心に、それ以後は21MHzでEU方面を、間にAFを挟んでまずまずのペースでQSO出来ました。21時台は約1時間の休憩、22時台以後は昨夜不調であった14MHzの挽回に努めました。月曜午前2時半から7時前まで4時間半の仮眠・休憩。

月曜7時台は21MHzでカリブ方面、南米方面をS&Pでマルチ稼ぎに集中。今回は、S&Pでもダイヤル回す必要なバンドマップに出ているコールサインをクリックすればLOGのエントリー欄にもコールサインを取り込める。これは快適だ。Wの壁も何のその、今日は1回か2回のコールで拾ってもらえる。LOG画面にニューマルチのしるしが増えてゆく。先ほどまでの眠気も吹っ飛んでゆく。しかし、気を付けないといけない。クラスターにあがったDX局のコールサインが必ずしも正しいとは限らない。慎重に確認が必要だ。特に、2と3、2と4の間違いが結構あるようだ。

あと時間、8時台は21MHzでランニング、最後の15分は28MHzをもう一度おさらいをして、48時間のCQWW SSB contest は終了しました。前回参加した、2010CQWWssbの時よりQSO数、得点も多く終了できました。

提出したスコアは左記のとおりです。

年をとるにつれて、徹夜での参加が苦しくなってきます。休みながらの参加でしたがまずまずの内容で楽しめました。そしてtelnet cluster や便利なLoggerのおかげで、コンテストの終盤で快い思いをさせてもらったことが今回のコンテスト参加で印象深い出来事でした。次は、LoggerのVoice機能もフルに使えるようにして、コンテストを長く楽しみたいと思っています。

21270.00 (21275.00) USB Manual - VFO A

File Edit View Tools Config Window H

PH 3W3MD Snt

160

80

40

20

15

10

● Run ● S&P Split

F1 S&P CQ F2 Exch F3 S

F7 Rpt Exch F8 Agn? F9 Z

Esc: Stop Wipe Log It

Hdg 239° LP 60° 2109mi 3394km

W: AS/VIETNAM, Zn 26

Score - 1,546,171 Points 2015CQWWssb

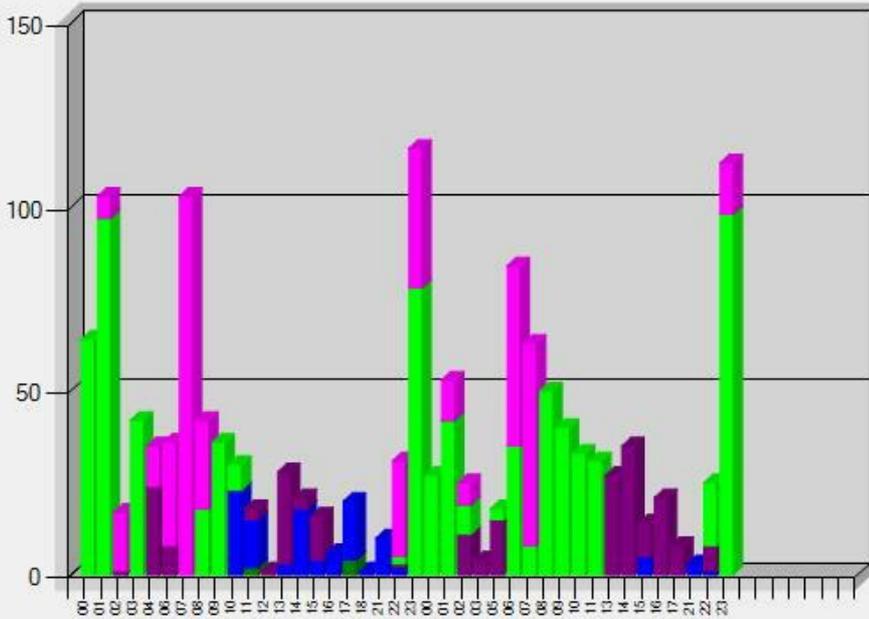
Band	QSOs	Pts	ZN	Cty
3.5	6	9	5	5
7	105	262	22	44
14	215	605	27	70
21	736	2079	30	89
28	387	1082	24	67
Total	1449	4037	108	275

Score: 1,546,171  
1 Mult = 3.8 Q's

118 JA3AOP SA HP ALL 1,111,120 1,255 108 232 26.0

# JA3AOP

## CQ WW SSB 2015/10/31



Create CQ WW certificate for JA3AOP (Full)

\*The official CQ WW Certificates are printed on 9"x12" paper

USA Letter size (8.5 x 11.0 in) or A4 size (210 x 297 mm)

Year: 2010 SSB

Score: 1,111,120 points

Category: Single Op Assisted - High Power - ALL BANDS

	Japan - Call Area 3	Asia	World
Rank	2	16	118

上、  
前回2010年に参加したときの  
成績。World 118, Asia 16,  
JA3 No.2

左、  
時間バンド別のQSO数の推移、  
朝のNA/ SA, 夕方のEUにピークが。

Max Rates:

5.0/ min(1 min) 300/ hr

3.0/ min(10min) 180/ hr

2.1/ min(60min) 123/ hr

Off time (>60min) = 13h 59min

下、  
10/26(月)st 朝のカリブ方面向けの  
S&Pの様子、LOGの一部。

Refresh Row Hour Column Band Palette Bright

DD-MM HH:MM	Call	Freq	Snt	Rcv	M1	ZN	M2	Pfx	Pts	Comp
25-10 21:51	SN8B	7147.00	59	59		15	SP	3	JA3AC	
25-10 21:54	CN2R	7144.00	59	59	✓	33	✓	CN	3	JA3AC
25-10 22:00	403A	7174.60	59	59		15	✓	40	3	JA3AC
25-10 22:07	N4WW	14167.00	59	59		05		K	3	JA3AC
25-10 22:08	VE3VEE	14200.00	59	59		04		VE	3	JA3AC
25-10 22:13	PJ4Q	14244.10	59	59		09	✓	PJ4	3	JA3AC
25-10 22:14	9Y4D	14255.50	59	59		09	✓	9Y	3	JA3AC
25-10 22:17	CU4DX	14343.00	59	59		14	✓	CU	3	JA3AC
25-10 22:19	CF3A	14280.90	59	59		04		VE	3	JA3AC
25-10 22:20	PY7ZY	14251.90	59	59		11		PY	3	JA3AC
25-10 22:24	CO6LE	21234.90	59	59	✓	08	✓	CM	3	JA3AC
25-10 22:26	PX5E	21303.50	59	59		11		PY	3	JA3AC
25-10 22:27	YV2CAR	21312.00	59	59	✓	09	✓	YV	3	JA3AC
25-10 22:28	VP5DX	21318.40	59	59		08	✓	VP5	3	JA3AC
25-10 22:30	V6AAA	21320.30	59	59		27	✓	V6	3	JA3AC
25-10 22:32	W9NY	21335.00	59	59		04		K	3	JA3AC
25-10 22:33	V47T	21341.80	59	59		08	✓	V4	3	JA3AC
25-10 22:34	V26B	21355.30	59	59		08	✓	V2	3	JA3AC
25-10 22:34	AA9A	21371.86	59	59		04		K	3	JA3AC
25-10 22:36	PJ2T	21399.00	59	59		09	✓	PJ2	3	JA3AC
25-10 22:37	P40A	21446.32	59	59		09	✓	P4	3	JA3AC
25-10 22:38	PY1NX	21442.00	59	59		11		PY	3	JA3AC
25-10 22:46	KP3Z	21371.00	59	59		08	✓	KP4	3	JA3AC
25-10 22:47	HC0E	21354.90	59	59		10	✓	HC	3	JA3AC
25-10 22:50	YN5Z	21282.60	59	59		07	✓	YN	3	JA3AC
25-10 22:51	9Y4W	21232.00	59	59		09	✓	9Y	3	JA3AC
25-10 22:52	PJ4X	21239.00	59	59		09	✓	PJ4	3	JA3AC

得られたNewMulti = 21

3 Zone 18 entity

所要時間

(21:54-22:52) 58分間

Band Pfx Entity

7 CN Morocco

Zone 33

7 40 Montenegro

14 PJ4 Bonaire

14 9Y Trinidad Tobago

14 CU Azores

21 CM Cuba

Zone 08

21 YV Venezuela

Zone 09

21 VP5 Turks Caicos Is.

21 V6 Micronesia

21 V4 St. Kitts Nevis

21 V2 Antgua Barbuda

21 PJ2 Curacao

21 P4 Aruba

21 KP4 Puerto Rico

21 HC Ecuador

21 YN Nicaragua

21 9Y Trinidad Tobago

21 PJ4 Bonaire